

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成19年11月29日

【評価実施概要】

事業所番号	2771100894
法人名	医療法人 河崎病院
事業所名	グループホーム大阪緑ヶ丘
所在地	岸和田市神須屋町662-2 (電話) 072-428-0781
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 19年 11月 19日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 6月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	13人	常勤	5人, 非常勤 8人, 常勤換算 7.0人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	3階建ての	2階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,000円	その他の経費(月額)	8,000円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	260円	昼食 600円
	夕食	520円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 19年 10月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	3名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.9歳	最低	78歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 河崎病院、片山歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営するグループホームで、介護老人保健施設、ケアプランセンター、ヘルパーステーション、デイケアセンター等が併設されています。「家庭的な環境と、安心と尊厳のある生活を送っていただくため、利用者皆様の残された能力の活用・維持を図り、楽しく・充実した生活が営まれるよう努力致します(要旨)」をホームの理念として掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に安心して生活を続けられるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、言葉かけや態度は明るくやさしい雰囲気です。看護師を職員として配置し母体病院と医療連携体制をとって利用者と家族に安心感を与えています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された事項について改善が進み、職員の研修回数が増え、預かり金について定期的に家族の確認を得ています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価については管理者と職員が検討会を開催し、話し合ってから完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は岸和田市の担当職員、地域代表や家族の参加のもと2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や利用者の生活ぶり、地域との交流、ホームの外部評価の受審等について説明し話し合っています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、医療や安全に関わる事項については必要の都度電話で家族に報告しています。昨年の外部評価で示された事項で、毎月利用者家族へ「おやより」を作成し、利用者の体調や預かり金の収支明細を利用者の写真と共に家族へ送付しています。家族とは面会時にできるだけ会話を交わし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族が意見を表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近隣の公民館での行事や演劇・コンサート等の催し物に参加しています。地域に住む利用者の友人が訪ねてきたり、幼稚園児の訪問を受けたり、中学生の体験学習を受け入れています。地域の生け花の先生が花持参で来られ、利用者は先生と共に生け花を楽しんでいます。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「(要旨)家庭的な環境と、安心と尊厳のある生活を送っていただくため、利用者皆様の残された能力の活用・維持を図り、楽しく・充実した生活が営まれるよう努力致します」を掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に安心して生活を続けられるよう支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化し、ホーム内に掲示されています。毎月の定例会議やケア会議、日常の業務を通じて職員と理念を共有し、介護サービスに反映させるよう話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	近隣の公民館での行事や演劇・コンサート等の催し物に参加しています。地域に住む利用者の友人が訪ねてきたり、幼稚園児の訪問を受けたり、中学生の体験学習を受け入れたりしています。地域の生け花の先生が花持参で来られ、利用者は先生と共に生け花を楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、職員の研修回数が増え、預かり金について定期的に家族の確認を得ています。自己評価については管理者と職員が検討会を開催し、職員間で話し合っ完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は岸和田市の担当職員、地域代表や家族の参加のもと2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や利用者の生活ぶり、地域との交流、ホームの外部評価受審等の説明を行い、話し合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	岸和田市担当職員とは事あるたびに相談を行い、市が開催する講演会や事業者連絡協議会グループホーム部会に参加し意見交換をして、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。また医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。昨年の外部評価結果を踏まえ、毎月「おたより」を作成し、利用者の体調や預かり金の収支明細を写真と共に家族へ送付しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時にはできるだけ会話を交わし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年間、職員の離職率が高く、新人職員の採用もありましたが、ベテラン職員の頑張りや、新人職員のトレーニングの強化により、利用者への影響は最小限に抑えることができます。また、なるべく早く利用者信頼関係が築けるよう、初めは業務の時間を減らし、利用者とは接する時間を多くとるように配慮しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年の外部評価結果を受けて外部研修への参加や、内部での勉強会を実施する等、職員を育てる取り組みが進んでいます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	岸和田市の事業者連絡協議会グループホーム部会に参加するとともに、地域のグループホームや同一法人のグループホームと交流し研鑽しています。全国グループホーム協会と大阪認知症高齢者グループホーム協議会にも加入し、研修会や意見交換会に出席してサービスの質を向上させていく取り組みを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には職員が家庭を訪問したり、利用者と家族がホームを見学したり、他の利用者と一緒に過ごして馴染みの関係を作り、家族や利用者の不安を取り除くとともに、安心して入居しサービスを受けられるように支援しています。また、入居後とよく話し合いを行い、ホーム内での生活に早く馴染めるように配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指し、自宅の畑で園芸に凝り、育てた花を持って毎日喫茶店に通っていた利用者、農園で収穫した大根を使用し、利用者の知恵と作業の分担により切り干し大根を作る等、それぞれが得意な能力を發揮しながら生き生きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりに「暮らし情報シート」を作成し、関わりの中での気付きを書き足しそれぞれの思いの把握に努力しています。朝、ゆっくり起床される利用者には朝食の時間をずらしたり、テレビの野球観戦や毎朝のテレビドラマ鑑賞を楽しみたい方を支援したりするなど、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿い、生き活きと生活を楽しめるように利用者の生活を支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の「暮らし情報シート」の情報から、現在の暮らし・心身の状況を把握し、医師や看護師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。来訪の少ない家族には、2部郵送して、同意の署名と捺印の後、1部を返送して貰っています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には3ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。ケアマネジャーは支援経過記録とケアチェック表でモニタリングを行い、サービス担当者会議の結果を受けて介護計画の見直しをしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	看護師を職員として配置し、 母体法人の病院と医療連携体 制をとり、利用者の状態に合 わせ必要な看護を提供して います。必要により通院介助 も行って います。 併設している老人保健施設や デイケアのクラブ活動（大正 琴、習字、お茶など）に参 加できるように支援を行って います。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られた、かか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	利用者は母体病院の医師から 医療を受けています。母体病 院と連携し、夜間や急変時の 対応についての体制整備も整 っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方 針の共有 重度化した場合や終末期のあ り方について、できるだけ早 い段階から本人や家族等なら びにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している	看取りの実施方針を決め、看 護師を配置して、利用者・家 族の意向の確認もして います。重度化した場合の対 応については、ホームと家 族・利用者、医師、看護師が 話し合い、全員が方針を共有 しながら対応していく予定 です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面で取り決めを行っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。起床時間や体調に合わせ食事の時間をずらしたり、居室で食事をしたり、自宅での外泊に出発する前の朝風呂や、夜遅く外泊から帰ってきた時の夜間入浴等、利用者一人ひとりのペースに合わせた支援をしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設の老健から取り寄せた調理済みのメインのおかずに加え、ホームで2～3品の小鉢、ご飯と味噌汁を調理し、下ごしらえ、調理、後片付けに至る一連の流れを職員と共に利用者も参加しながら楽しんでいます。農園で収穫した野菜の料理を楽しむこともあります。職員は利用者と同じ食事を取り、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は通常週に2回はゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば毎日でも入浴することができます。	○	利用者が週に3回はゆっくりと寛いで入浴できるよう体制と雰囲気作りが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中でそれぞれの役割を見つけ、家事を分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。毎日全員で唱歌の合唱をするのが大きな楽しみの一つとなっています。利用者はそれぞれ公民館や併設の老健に出かけ、習字、ちぎり絵、大正琴、お茶会、カラオケを楽しみ、演劇・コンサート等の催し物にも参加する等、利用者一人ひとりが得意なことや役割、気晴らしをして楽しんでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者は法人の広い敷地内にある遊歩道を散歩し、東屋でお茶を楽しんでいます。利用者の希望に応じて買い物に行き、習い事をする為に近隣の公民館へ外出し、また外食の支援も行っています。季節に合わせて花見や遠足にも出かけたり、行きつけの喫茶店へモーニングに出かけたりする方もいます。また家族と一緒に外出する機会も多くなっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	フロアドア、エレベーター、老健の入口ドアのいずれにも鍵をかけず、職員の見守りで利用者の自由な暮らしを支え、自由に外出できるようになっています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併設の老健とともに法人全体で地域の南大阪防災センターの協力を得て、年に4回避難訓練を行っていますが、ホームの利用者は避難訓練に参加していません。災害時の食料と水の備蓄については法人全体で取り決めをして実施しています。今後、避難訓練には利用者の参加が望まれます。また災害用の食料や水の備蓄をグループホーム独自で準備されることを期待します。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量について記録し、水分摂取量についても目標を定め記録をとっています。栄養バランスについては併設老健の管理栄養士からアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベランダには季節の花が咲いており、明るく広いリビング兼ダイニングルームには飾り棚、花が飾られた三つの食卓テーブルのコーナーと、反対側のテレビの前のソファのコーナーがあり、壁には行事写真がはられ、全体としてゆったりとしていて居心地のいい空間となっています。 飾り棚には、写真誌や本が置かれており、利用者はいつでも見ることができます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはホームが備え付けたベッドがあり、利用者がそれぞれテレビ、装飾品、家族の写真、趣味の手作り作品を持ち込んでいます。しかし家具等の持ち込みはなく、全体として物寂しい雰囲気があります。	○	使い慣れた家具等を持ち込めるよう、家族に働きかける支援や工夫をしながら、利用者が居心地よく過ごせるような居室にすることが求められます。